

富士フィルムホールディングス株式会社が発行する 「ソーシャルボンド」への投資について

大東京信用組合（理事長 柳沢祥二、以下「当組合」）は、このたび、富士フィルムホールディングス株式会社（以下「本法人」）が発行する第 22 回及び第 23 回社債（ソーシャルボンド）、（以下「本債券」）への投資をいたしましたので、お知らせいたします（本債券発行日 2024 年 7 月 19 日）。

「ソーシャルボンド」とは、調達資金の使途が社会的課題の解決に資するものであることに限定された債券です。

本債券による調達資金は、バイオ CDMO 事業における、製造拠点の新設、M&A、生産能力増強に係る設備投資、高効率・高生産性技術の開発などに係る既存投資のリファイナンスに充当する予定です。

また、本法人は本債券の発行にあたり、「ソーシャルボンド・フレームワーク」を策定し、国際資本市場協会（ICMA）の「ソーシャルボンド原則 2023」及び金融庁の「ソーシャルボンドガイドライン 2021 年版」との適合性に関して、外部機関である DNV ビジネス・アシュアランス・ジャパンよりセカンド・パーティ・オピニオンを取得しております。

当組合は、今後も ESG 投資を通じて、SDGs の達成に貢献する事業を資金面からサポートし、持続可能な社会の形成に寄与すべく社会的使命・役割を果たしてまいります。

以 上